

WE THINGS

GOOD MANNERS DOG TRAINING

第七章

ちょうだい

ちょうだいの取り組み

## ちょうだい

パートナー（自分の犬）がおもちゃを咥えていたり、どこからかタオルや靴下を咥えて嬉しそうにしている事があるかと思います。

問題ないものであればしばらく与えてあげることも可能ですが、タオルや靴下の場合はおもちゃではないのでビリビリになったりする前に渡してほしいですね。

また、誤って飲み込んでしまう事も可能性としては十分考えられます。

そうなる则一大事なので、そんな事態が起きるもっと前に、口から物を出すことを抵抗なくやってくれるように、日頃からの取り組みをしておく事が重要だと感じています。

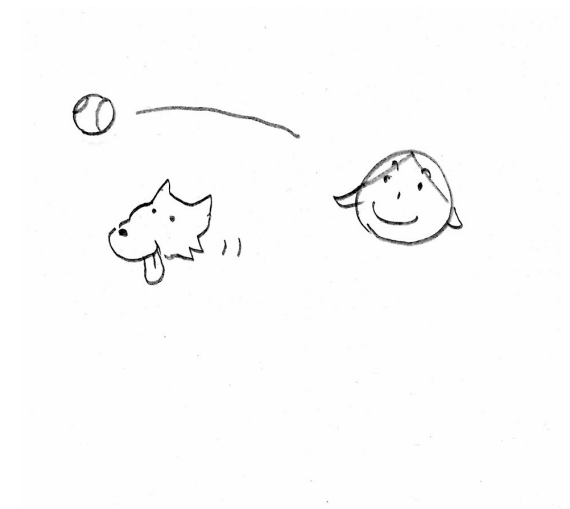
日頃、私たちは「こちらに渡して欲しい」という意味で「ちょうだい」などの合図を言います。

しかし、一向に渡してくれない。

むしろどこか遠くへ持って行ってしまったり、手が届かないギリギリの所までしか来ない…。

すべての行動の裏には色々な理由があることが考えられます。

「ちょうだい」に関しても、今までのやり取りから学習した結果、様々にある理由の1つとして「これをこの人に渡したら、もう自分の元には戻ってこない。」と犬が判断しているとすれば、渡してくれないのは当然だと思います。



もっと言うと、渡さない方が自分にとって得な事が起きている限りは、人に渡すという選択肢を選ばないでしょう。

このように、犬との関わりの中で人間側が思っていたことと違う犬のリアクションを見たときは、犬の中でどんな気持ちが起きているかを憶測や擬人的な解釈ではなく、犬を含めた動物の学習する際の法則に沿って考えると、犬の考えている事が冷静に判断できます。

少しかたくなってしまいましたが、という事は、犬が気持ち良く、もしくは納得して返してくれるという事が大事なのではないかと考えています。

そして無理矢理取り上げたり、死闘を繰り広げてやっと取り返せる、何てことでは毎回お互い大変ですものね。

では、気持ち良く返してもらうにはどうすれば良いのか？

それには様々な方法がありますが、「食べ物で手を打ってもらう」つまり、交換制度を設けるとするのも1つですね。

ただただ「渡したらそれで終わり」という、楽しい事が終わり、好きな物を失う事が繰り返されると、渡さない方が得だと考えるのがやはり自然だと思います。



そうでなく、「渡すのも悪くないな」と思ってもらえるような状況を用意する事が人間側にできる事だと考えています。

以上のことを踏まえて、ここからは、がっかりさせないための取り組みの1つをご紹介しますね。

・ちょうだいの取り組み

\*流れ

- ①渡してもらって合図を言う  
(ちょうだい、オフ、アウトetc,...)
- ②口から離すまで待つ
- ③口から離してくれたら褒める言葉を言う
- ④おやつをあげる

「渡したけど損はしなかった」と納得してもらい、それを積み重ねる事で、渡す事はなにも自分にとってマイナスな事ではないのだと理解してくれると思っています。

そうすれば、「どうせ渡したって…」など、状況を比べるような事は考えずに、「渡したら何かあるかも」と思ってくれるようになれば、これまでより早く返してくれるようになるでしょうし、毎回お互いに大変な思いをしなくて済みますね。



交換制度（含め他の章での取り組みの方法についても）の取り組みは食べ物で手を打ってもらう事から、少しずつ制度を発展させていきます。

発展の方法などについては、ここでは書ききれないため実際のコースでお話させていただいていますので、まずはこのベースの取り組みを行っていただいて、不明な所や発展の仕方については直接お話をさせていただいております。

是非、楽しみながらパートナーと取り組みを行っていただければ嬉しいです。

#### POINT

##### <練習方法>

まずは、とっても好きなものは避けて、口に入れても安全な物や、少しぐらい壊れても良いおもちゃなどで練習することをお勧めします。渡してくれない事に慌てたり、怒ったり、騒いでしまうと違う学習をする事も十分考えられます。そうならない準備をして、小さな成功を重ねられる取り組みを行っていただくことをお勧めします。

##### <褒めるについて>

「そう、それ合ってるよ！」などの意味を込めて「いいこ」「good」や「nice」という言葉を使い、パートナーがとった行動に対して返事をしている様な感覚で使用する事を「褒める」としています。



※ご案内※

このe-Bookの内容はあくまでも一例であり、かいつまんだ内容でもあります。  
実際のマンツーマン講座では、個々の状況や状態で別の方法をご提案することもございます。

ご不明な点や、うまくいかないような所も含め、詳しくは実際のコースにてご案内しておりますので、  
こちらのe-Bookについては参考程度にお楽しみください。